

柏小っ子の せいかつだより



柏崎市立柏崎小学校 生徒指導だより R6. 7. 19 (金)

安全で 楽しい夏休みに！



7月24日から夏休みが始まります。長期休みを安全で有意義に過ごしてほしいと願っています。

子どもたちへは「夏休みの過ごし方」を配付し、夏休み中の地域や友達の家での過ごし方について事前指導をします。特に以下の3点については、子どもたちの話や個別懇談で話題になったことです。ご家庭でも、ぜひお子さんと確認をしていただきたいと思います。

- ◎お金を持って遊びに行かない。
- ◎アクアパークなどの入場料が必要な施設には、4年生以上は3人以上で、家の人の許可をもらってから行くことができる。
- ◎外で遊びながら食べ物を食べない。
- ◎大人のいない友達の家で遊ばない。友達の家には泊まらない。

数年前に比べると、友達の家で遊ぶことが増えてきた様子が伺えます。友達の家に行くときには、自分の家以外で過ごすときのマナーについてぜひ、お子さんと確認をしてください。

全校 SSE & 道徳で つながりアン

5月と7月に全校 SSE を実施しました。SSE とは、「ソーシャルスキルエデュケーション」の頭文字をとった言葉です。学校や社会でみんなが気持ちよく生活するために大切なこと、必要な行動を学ぶ学習です。

1回目は、「話を上手に聞こう」をテーマに学習しました。劇をみながら、上手な話の聞き方について考えました。聞き方のポイントは、以下の4点です。その後、ペアやグループで話の聞き方のリハーサル(練習)をして、これから自分はどうしたいかを考えました。

- 1 今していることをやめる。
- 2 話す人の方を見る。
- 3 うなずき、あいづちを打つ。
- 4 最後まで聞く 拍手をする。



話をうなずきながら最後まで聞いてもらおうと嬉しい気持ちになり、今度は、相手の話もしっかり聞こうという思いが行動に表れていました。

2回目は、「ふわふわ言葉を伝え合おう」をテーマに学習しました。劇をみながら、ふわふわ言葉やちくちく言葉を言われたときの気持ちを考えました。その後、「リレーで友達がバトンを落としたとき」「友達が係の仕事が終わらず困っているとき」の2つの場面で友達へどんな言葉をかければよいのかを練習しました。

言葉をかけるときのポイントは、以下の3点です。

- 1 ふわふわ言葉で
- 2 相手を見て、笑顔で
- 3 聞こえる声で



学習後に子どもたちは、「ふわふわ言葉を伝え合うことで、相手も自分もうれしくなった。これからもふわふわ言葉をかけることを心掛けたい」という感想をもちました。

6月には、池田校長による全校道徳を実施しました。「雨のバスでいしゅう所で」を題材にして、学習しました。

<話のあらすじ>

雨の日、のき下でバスを待っていたよし子とお母さん。バスが見えたとき、よし子は他の人たちを追い越して並んでしまいます。それを見たお母さんは、何も言わないでよし子を並んでいたところまで連れていきます。六番目に乗ったよし子は、座ることができません。黙ったままのお母さんの顔を見ながら、よし子は自分がしたことを考えました。

以下のことについて考え、意見を交流しました。

- ① バスが見えたとき、よし子がかけて出して先頭に並んだのはなぜか。
- ② お母さんが何も言わずに、よし子をもどしたのは、どんな考えからか。
- ③ お母さんの横顔を見ながら、よし子はどんなことに気づいたか。

自分自身を振り返り、みんなが気持ちよく過ごすために、大切なことは何かを考えました。今後も自分のことだけでなく、周囲の人たちのことを考えて行動する気持ちを育てていきたいと考えます。

◎SSE や道徳の学習の中で正しい行動をする大切さに気付いていても、実際の場面では、「自分から行動する勇気がない」「もし、行動したら誰かに反感をかうのではないか」などの理由で、葛藤しながらも行動できないこともあります。今後も、具体的な場面を想定し、相手の気持ちを想像することで、正しい行動や友達を思いやる姿勢を育てていきます。

◎新潟県は自転車ヘルメットの着用率が全国最下位とされています(別紙の県からのお便りをご覧ください)。大事な頭部を守るために、まだ着用していない場合は、ヘルメットの着用についてご検討をお願いいたします。柏崎市から、ヘルメット購入費補助金が出ます。問合せは、市民生活部 市民活動支援課へ(Tel 21-2272)